

# 福井県農業経営相談所

経営改善・診断

経営継承・相続

事業所名	従業員規模	所在地	支援テーマ	支援回数
個人 A氏	家族労働2名 パート1名	福井県坂井市	経営改善、経営継承	専門家派遣回数 2回

## 相談内容・現状課題

### ■相談内容

父親の急逝により経営（水稲＋酪農）を継承したものの、酪農については飼育頭数が少ないため経営が不安定であり、規模拡大（増頭）を図りたい。

水稲についても、酪農部門の経営を安定させた上で規模を拡大したい。集落内の水稲生産法人構成員の高齢化に伴い、自身の経営面積の増加も予想されるため、経営計画の再検討をしたい。

### ■現状課題等

老朽化した牛舎の再整備を検討しているが、適正規模の判断が難しい。

また、集落の法人の経営を継承する計画があるが、円滑な事業継承に向けた支援が必要である。

## 相談所の支援体制・伴走支援チームからの改善提案（問題解決方法）

### ■支援内容

農業税務の特殊性を踏まえた法人化や事業承継の支援実績のある農業経営コンサルタント（税理士）を派遣。安定した生乳生産技術については、普及指導員、家畜保健衛生所、畜産協会、JAが連携して指導。

- ① 酪農部門の再整備計画に対する投資規模の判断と助言（農業経営コンサルタント（税理士））
- ② 水稲部門における集落内法人からの継承方法と酪農部門との複合経営への継承時期・方法指導（農業経営コンサルタント（税理士））
- ③ 飼養、乳質及び繁殖管理の技術向上による経営改善指導（普及指導員、家畜保健衛生所、畜産協会、JA）

相談者は支援を受ける中で自身の経営を改めて認識し、相談者納得の下、まずは水稲経営を安定させる方向で経営改善の検討を進めた。



専門家による指導

## 支援の成果・その後の状況

### ■支援の成果・その後の状況

酪農部門は自身の適正規模を見極めた上で、改めて検討を行うこととなった。水稲部門は自身が中心となって新たな法人を設立し、集落内法人から事業継承を行うこととなった。

地元の理解と協力を得て耕作面積を増やしつつ、酪農部門の規模拡大が実現できるタイミングで個人から法人へ継承するよう助言した。

### ■コーディネーター所感

ニーズに即した専門家の支援により、相談者の酪農経営に対する理解が進むとともに、過剰投資を防ぐことができた。

また、水稲については、集落内法人の意向等を踏まえた経営継承方法を助言し、相談者の満足度も高かった。

今後は新たな法人の設立、酪農部門の施設整備に向けた支援を引き続き実施していく。